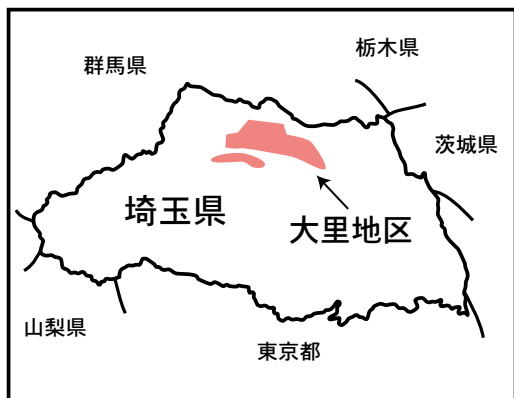


“地域リーダーとして地域農業を牽引”



柴田 忠雄

【埼玉県熊谷市（旧江南町）】

受賞理由

- ① 土地利用集積及び集落営農組織の設立
- ② ブルーベリーの新規導入、販路の開拓・拡大
- ③ 加工等地域連携による地域活性化

取組の概要

国営大里地区（H6～18）は、埼玉県北部の荒川中流域に展開する受益面積3,820haの農業地帯です。

柴田氏は、事業実施によって、安定した用水の確保と水管理労力の省力化が図られたことを契機に新たな作物の導入や集団転作による効率的な水田農業経営を実践してきました。

また、地域において、上新田地域営農集団長、集落営農組織「御正営農組合」の設立準備委員、江南町ブルーベリー生産組合長としても活躍されてこられました。



ブルーベリーの新規導入

農家所得の向上を図るため、地域で最も早くブルーベリーを導入して、農薬や化学肥料を使用しない栽培技術を確認しました。この取組により埼玉県特別栽培農産物認証制度に基づく認証を取得し、「江南ブルーベリー」としてブランド化が図られ、有利に販売されています。



土地利用集積及び集落営農組織の設立

上新田地域の土地利用集積を行い、麦・大豆を積極的に推進したブロックローテーション方式を導入することによって効率的な水田農業経営を確立しました。

また、周辺集落を包含した集落営農組織「御正営農組合」の設立においても設立準備委員会の委員として、地域の農家のまとめ役になるなど中心的な役割を果たしました。



ブルーベリーの販路の開拓と地域連携

ブルーベリー生産出荷組合長に就任した柴田氏は、生産した江南ブルーベリーを生食用として百貨店やJA直売所に出荷し、加工品原料として酒造会社、農産物加工所にも出荷するなど販路を開拓しました。

また、H18年度から埼玉高速鉄道株式会社と提携し、江南ブルーベリーの通信販売を開始するなど積極的に組合員の所得向上に取り組んでいます。



これらの取組を通じて、地域の農家からも高い評価と信頼を得ており、地域を牽引するリーダーとして地域農業の発展に貢献しています。

また、大里用水土地改良区理事長としても地域をまとめ、事業の推進役を担ってきました。